



学校だより

古南小の絆

令和6年2月29日
高松市立古高松南小学校

もう春はそこまでやって来ています！



朝、手袋がなくても大丈夫な日が増えてきました。三寒四温を繰り返しながら、春はそこまでやって来ています。昨日は、南庭に一輪の鮮やかなオレンジ色のバラの花が咲いているのを見つけました。周りの草花はまだ蕾もつけず、茎の色も枯れ枝のようですが、そのバラの茎だけは鮮やかな緑色で、春のおとずれを伝えていました。



【南庭に咲いたバラ】

この暖かさにつられてなのか、子どもたちの朝のボランティアをする人数も徐々に増えてきているように感じます。その先頭に立っているのが、委員会活動等で6年生からその役割を引き継いだ5年生です。その積極的な姿から頼もしさを感じるとともに、6年生も安心して任せられると思ってくれるのかなと想像しています。



【在校生による卒業式の練習風景】

4年ぶりの在校生全員が参加しての卒業式の練習もいよいよ佳境を迎え、卒業式を通して6年生に感謝の気持ちを伝えようとするきびきびとした所作や心のこもった歌、呼びかけに、練習の段階から心打たれています。きっと、今年の卒業式は、全校生で作り上げる素晴らしい式になるに違いありません。

☆ みなみ学習発表会 ☆

総合的な学習の時間や生活科で学んできたことの学習発表会が開かれました。今年も、どの学年も保護者の皆さんだけでなく違う学年の人たちにも画面を通してではなく発表を実際に見てもらい、質問や意見をいただく交流も交えながら、学習の成果を確認することができました。

参観いただいた学校運営協議会の皆さんからは、「コロナ前はみんな模造紙や画用紙に書いての発表が多かったが現在はタブレットや電子黒板を使ってプレゼンテーションする姿に驚いた。」「子どもたちは時代の進歩に適應している。」と感心の声が上がっていました。

☆ 6年生が留学生さんと交流会 ☆

6年生が、外国語教育や社会科での国際理解の一環として、鳴門教育大学の留学生さんたちと交流会をしました。各国の文化などのお話の後、英語を使って自己紹介をしたり、ゲームをしたりしながら今まで学んできた自分の英語力を試していました。

「分かる単語を聞き取るだけでも相手の伝えたいことが理解できた。」とか、「もっと英語を勉強して自分たちのことももっと伝えたい。」といった、これからつながる感想が多く聞かれました。【留学生さんのプレゼン】



☆ 5年生が「委員会紹介」☆

5年生が、来年度に委員会になかま入りをする4年生に向けて、委員会紹介をしました。それぞれの委員会が、「自分たちは学校みんなのためにどのような活動をしているのか」をしっかりと伝えていました。聞いている4年生も「自分は何がしたいかな。」と考えながら真剣に聞いていました。



【委員会紹介の様子】

☆ もうすぐ6年生ありがとうWEEK ☆

今年も3月1日から「6年生ありがとうWEEK」が始まります。本校の素晴らしいところは、廊下の卒業式に向けてのお祝い掲示とは別に、学級ごとに6年生の教室から見える窓ガラスに感謝のメッセージを貼ったり、お手紙を届けたりして6年生に「ありがとう」の気持ちを伝えるところです。昨年は、体育館に6年生を招待して、運動会さながらに「つなひき大会」をしていた学年もありました。今年もどんな心温まる光景が見られるのか楽しみです。